

S-Fuse Cage バイラテラルケージ手術手技

T字ハンドル

T字ハンドル【図1】はリーマー・タップ・ディストラクターガイドと併合して共通で使うことができます。



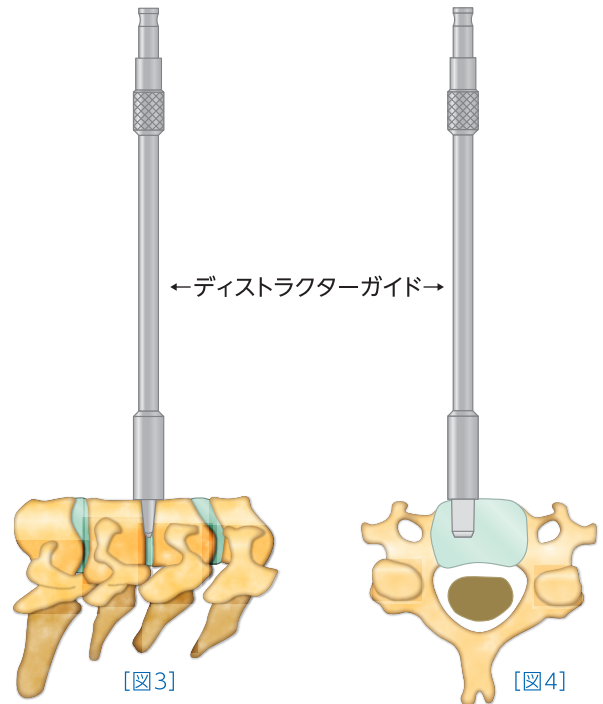
【図1】

ディストラクション

適切なサイズのディストラクターガイド(6mm/7mm)【図2】を隣接する椎体に確実に接触するように挿入し適切なインプラントサイズを確認します【図3】バイラテラルインサートガイドでケージを挿入する場合は椎間板スペースの中央より若干外側に挿入します【図4】一般的な椎体スプレッターやレトラクターを補助的に使用しても構いません。



ディストラクターガイド 【図2】



←ディストラクターガイド→

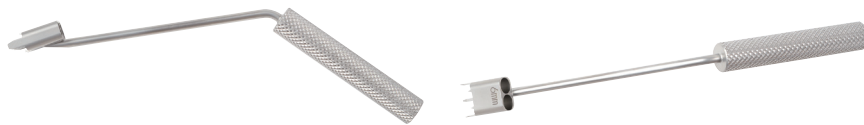
【図3】

【図4】

バイラテラルインサートガイド選択と設置

適切なバイラテラルインサートガイドを選択後【図5】初めにディストラクターガイドを設置し、その上からバイラテラルインサートガイドをスライドさせて椎間スペースの中央に位置するようにします【図6】

バイラテラルインサートガイド設置後、ディストラクターガイドを取り外します。



バイラテラルインサートガイド 【図5】



【図6】

※以降バイラテラルインサートガイドはバイラテラルガイドと呼称し説明いたします。

椎間スペースに両側のパドルが適切に入るように、かつバイラテラルガイドのスパイクが確実に噛むように、バイラテラルガイドの片方にインサートガイドスターター【図7】を設置して【図8】インサートガイドスターターの上部をマレット等で軽く叩いて、椎間スペースの頭尾側に適切な位置になるようにします。反対側にも同様の作業を行い、スパイクが均等に噛むようにします。

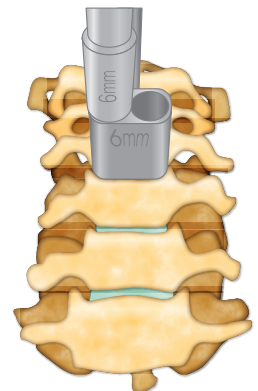
※バイラテラルインサートガイドは椎間高を保持しながらリーミング・タッピング・インプラント挿入を行うことができます。



【図7】



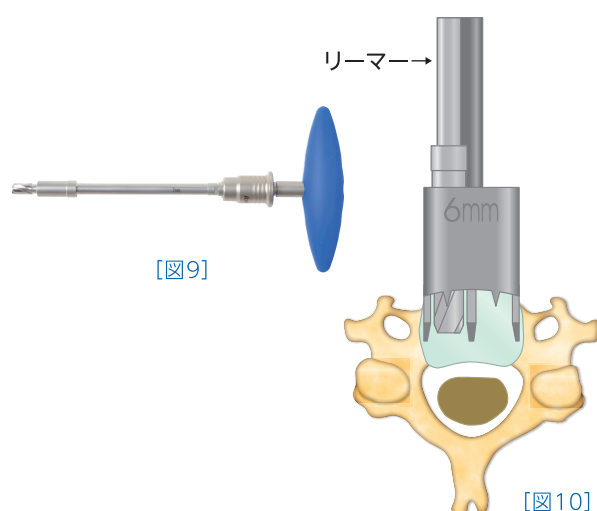
【図8】



リーミング

バイラテラルガイドをしっかりと保持しながらリーマー【図9】をバイラテラルガイド内に挿入し、リーマーのストッパーが当たるまで右回転させていきます。抜くときも右回転させながら行います【図10】。リーミングの深さは12mmです。

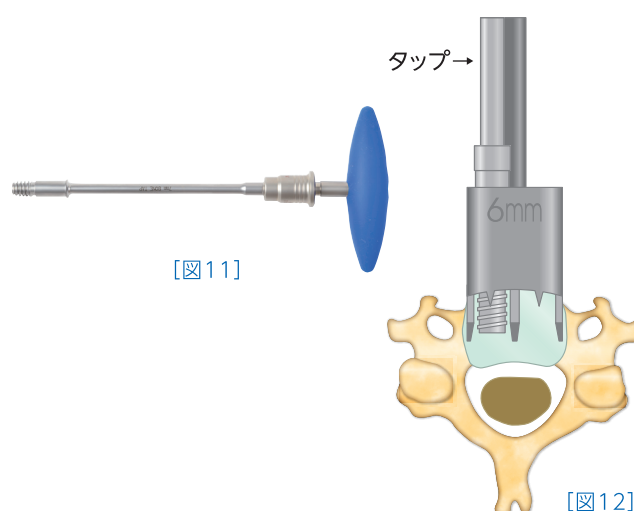
注意:リーミング時にはX線側面像の使用をお勧めします。



タッピング

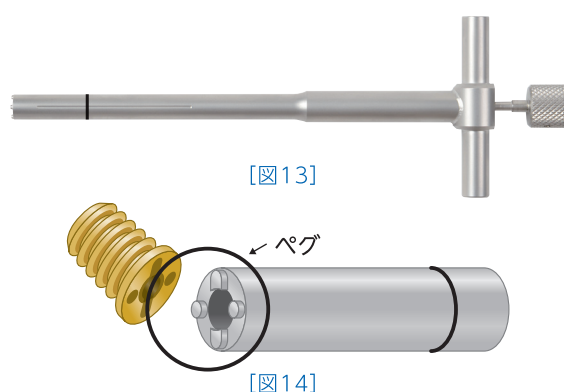
タッピングはバイラテラルガイド内にタップ【図11】を挿入し、下方向に少し力を加えながら右回しで行います。タップのストッパーがバイラテラルガイドに接触した時点で止めます【図12】。タップの取り外し方は、椎体から抵抗がなくなるまでゆっくり左へ回します。

注意:タップのストッパーがバイラテラルガイドに接触したら絶対にそれ以上回さないでください。椎体に作成したねじ山を壊してしまいます。



インプラントの取り付け

ケージ表面の2個の穴と直線の溝をインサーターのペグと合わせてインサーター【図13】の上部の丸いつまみを右に回して、ケージを把持します【図14】。



ケージの挿入

バイラテラルガイド内にインサーターを挿入し、軽く下方向に少し力を加えながら右回しで挿入していきます【図15】。インサーターの黒いラインがバイラテラルガイドに接触したら挿入終了の目安となります。

注意:バイラテラルケージでは最初のケージ挿入が完全に終了してから2個目のケージ挿入のための作業をリーミングから行ってください。

